

11. 煙突ライニング	・煙突用成形ライニング材 (20.2.11) 最高使用温度 ※650℃ ()℃ ・キャスタブル耐火材 製造所 ※監督員の承諾する製造所 ()同等以上
12. ブラインド	(20.2.12) 形 式 ※複型ブラインド (JIS A4801) ・複型ブラインド スラットの材種 ※アルミニウム合金 ・アルミニウム合金・クロス 開閉方式 ※手回式・コード式・操作様式 ・1本操作コード・2本操作コード スラットの幅 ※25・35 ・80・100
13. ロールスクリーン	材種、品質等 () (20.2.13)
14. カーテン及びカーテンレール	(20.2.14) (表20.2.1) 施工箇所 きれ地名特品質 ひとの種別 形 式 閉閉装置 ・片引き・引分け ・有 ※無 ・片引き・引分け ・有 ※無 ・片引き・引分け ・有 ※無 ・片引き・引分け ・有 ※無 ※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。 カーテンレール 材種 ※ステンレス製 ・アルミニウム製 ・鋼製 形状 ※C型又はD型 ・角型
15. ブラインドボックス及びカーテンボックス	材種 ※アルミニウム製 (既製品) ・鋼製 () 色彩 ※シルバー ・着色 () 形状 ※溝幅90×深さ150 ・溝幅 ()×深さ ()
16. コーナービード	材種 ※ステンレス製 ()
17. 天井見切縁	材 種 ※アルミニウム押出型材 ○塩化ビニル製 施工箇所 ※仕上表による ()
18. 点検口	施工箇所 材 種 寸 法 天 井 ※アルミニウム () ○350×450 ※600×600 床 ※アルミニウム ・ステンレス ・450×450 ※600×600 形式 ・一般型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ()
19. くつみきマット	材種 ※塩化ビニル製またはゴム製 (受枠ステンレス製) ・硬質アルミニウム製 (受枠硬質アルミニウム製) ・ステンレス製 (受枠ステンレス製)
20. 鋼製書架及び物品棚	種 類 規格等 耐荷重による種類 ・鋼製書架 JIS S 1039による ・1種 ・2種 ・3種 ○鋼製物品棚 ・4種 ○5種 ・6種
21. 旗ざお	材種 ※アルミニウム合金製 () 形状 ・テーパー式 ・同一断面 形式 ・ロープ式 ・ハンドル式 寸法 ()
22. 旗ざお受食物	材種 ※ステンレス製 (市販品) SUS 304 ()
23. 流し台ユニット	ステンレス流し台 仕様・寸法 () コンロ台 () 吊戸棚 () 水切棚 ()
24. 視覚障害者用誘導床材	施工箇所 材 質 寸 法 備 考 ・磁器製又はセラミック製 ・300角 () 無ゆづり 黄色 ・ビニル床タイル ・300角 黄色 ・点字紙 真ちゆう製 ・コンクリート製 ・300角 厚60 黄色
25. 既製フェンス	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ○(UNフェンス)
26. かぎ箱	※鋼製市販品 ・30組用 ・60組用 ・120組用
27. 敷地境界標	種別 ・A種 (程度) ※B種
28. 屋外掲示板	照明器具 ※あり ○なし 施 錠 ※あり なし
29. 車止め支柱	材種 ※ステンレス製 (上下式鎖内蔵型) () 形状 ※スプリング付き ・スプリングなし
30. 新聞受・郵便受	()
31. 木製家具	家具専門メーカーの製作品とする。
32. 収納・収納家具	合板類 ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ () ミディアムデンシティファイバーボード (MFD) 及びパーティクルボード ホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ()
33. 施工中の安全管理	接着剤及び塗料の配布に当たっては、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。

21. 排水工	(21.2.1) (表21.2.1) 材 種 管 の 種 類 管形状 (接合方法) ※遠心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管 (※1種 ・2種) B形 (ゴム接合) ・硬質塩化ビニル管 ※VP・VU・RS-VU・RF-VP
2. 排水樹及びふた	※図示による (21.2.2)
3. グレーチングふた	材 質 ○鋼製 ・ステンレス製 () (21.2.2) 形 式 ※受枠付き () 種 類 ○溝ふた用 ○樹ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 適用荷重 ・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ○T-14用 上面形状 ○凹凸形 ・平形 () メッシュ・ピッチ ○細目 ・普通目 ()
4. 鉄製マンホールふた	種 類 ○水封形 ・密閉形 ・簡易気密形 ・中蓋付密閉形 適用荷重 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用
5. 埋戻し材料	「標仕」表3.2.1による ※B種 ○(A) 種

22. 舗装工	盛土の種類 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3) (表3.2.1) ※行わない ・行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5) 3. 路床締固め試験 ※行わない ・行う (22.2.5) 4. 現場CBR試験 ※行わない ・行う (22.2.5) 5. 路盤材料 ※再生クラッシュランRC-40 (22.3.3) (表22.3.1) ・クラッシュランスラグCS-40 ・クラッシュランC-40 () 6. アスファルト舗装 車道部の基層 ※なし ・あり (22.4.2) (表22.4.1) アスファルト ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト (22.4.3) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4) 区分 ※一般地域 ・寒冷地域 表層 ※密粒度アスファルト混合物 (1.3) ※密粒度アスファルト混合物 (1.3F) ・細粒度アスファルト混合物 (1.3) 基層 ※密粒度アスファルト混合物 (1.3) ※密粒度アスファルト混合物 (1.3F) ・細粒度アスファルト混合物 (1.3) シーコート ※行わない ・行う (施工範囲:) (22.4.5) アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6) 7. コンクリート舗装 コンクリート舗装等に使用するコンクリートは「標仕」表22.5.1による。 (22.5.3) 早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.6) コア採取厚さ試験 ・行う ・行わない (22.5.6) 8. カラー舗装 車道部 (22.6.2) (22.6.3) (表22.6.1) カラー舗装の種類 加熱系 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 ・図示 常温系 ・ニート工法 ・塗布工法 ・図示 常温系カラー舗装の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類 ・図示 () 車道部の基層の適用 ・適用しない ・適用する 歩道部 カラー舗装の種類 加熱系 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 ・図示 常温系 ○ニート工法 ・塗布工法 ・図示 常温系カラー舗装の下部 ○アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類 ・図示 () 車道部の基層の適用 ・適用しない ・適用する 9. 透水性7mm以下舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない (22.7.6) 10. ブロック系舗装 種 類 ・コクリート平板舗装 ・インサレーション舗装 () (22.9.2) 厚 さ 歩行部※60 () 車道部※80 () ジオテキスタイル ・適用する (60g/m ²) ・適用しない 11. 区画線等 トラフィックペイント JIS K 5665 ※溶融型 (厚1.5) ・加熱型 (厚1.0程度) 区画線幅 ※150 () ・身障者用駐車場スペース表示 (1500角) ・駐車スペースナンバ表示 (350角)
23. 撤去工	1. 撤去 ※伐採、伐根 図示による ※埋戻し: B種 ※別添3-3 撤去工事特記仕様書による
24. その他	種 類 規格等 耐荷重による種類 ・鋼製書架 JIS S 1039による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ○5種 ・6種 仕上 (塗装) ※メーカー仕様の焼付塗装) 地震対策 ※支柱脚を床固定 (メーカー仕様の金具、M10アンカー) ※支柱を壁固定 (メーカー仕様の金具、軽鉄ビス留) ※各欄の連結 (メーカー仕様の金具) 2. 誘導標識 ・避難口誘導標識 (300×120) ・通路誘導標識 (300×100) ※蓄光性硬質塩化ビネ ※ (財) 日本消防設備安全センター認定品

工 事 内 容		建築	外構	植栽	電気	電話	昇降	給衛	空調	ガス	黒板置	備 考		
機器の基礎	電気関係	屋内	○									電気と十分協議すること		
		配電盤・制御盤の基礎	屋外	○										
		屋上	○											
		自家発電機の基礎 (アンカーボルトを除く)	○											
		テレビアンテナの基礎 (")	○											
	機械関係	避雷針の基礎 (")	○										機械と十分協議すること	
		屋内設備	○											
		屋外設備 (架台、アンカーボルト含む)	○											
		屋上設備 (架台、アンカーボルト除く)	○											
		特記した基礎												
開口部	梁、床、壁				○	○	○	○	○	○				
	貫通スリーブ				○	○	○	○	○	○				
	梁、床、壁	○												
	貫通型型枠	○												
	軽量鉄骨下地	○												
	壁・天井ボード類の切込み	○												
	埋込型分電盤、	○												
	端子盤等の型枠	○												
	上記開口部の補強	○												
	上記開口部の突出し				○	○	○	○	○	○				
点検口	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)				○	○	○	○	○	○				
	OAフロア器具取付用	○												
	床、壁、天井	○												
	外壁面 (ダクト、チャンバーの接続用含む)	○												
	建具取付	○												
	空調用リターン	○												
	厨房						○	○	○					
	上記以外	○						○	○	○				
	換気扇の取付枠及びアルミパネル	○												
	壁換気扇 (ウェザーカバー含む)								○					
ガラリー	天井換気扇 (ペントキャップ含む)								○					
	流し台	○												
	排水トラップ含む	○												
	オイルサービスタンクの防油堤													
	自火発電用	○												
	空調用	○												
	床下水槽のマンホール蓋	○												
	雨水	○												
	汚水、雑排水管	○							○					
	換気	雨水	○											
雨水		○												
雨水		○												
身障者用便所手すり		○												
はめ込み形洗面器用カウンター (前板共)		○												
ガスボンベ転倒防止用の鎖											○			
機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)					○									
機械設備機器付属の制御盤と電源供給及び配管配線					○									
機械設備自動制御と電気設備との電源供給					○									
機械設備自動制御と電気設備との操作回路の渡り配管配線					○									
電気配管配線	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配管				○									
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチとの渡り配線				○									
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ				○									
	天井吊り型FCU、個別パッケージ、全熱交換器と操作スイッチ埋込ボックス				○									
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパー及び排煙口に至る配管配線				○									
	小便器用節水装置制御盤以降の配管配線				○									
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部への電源供給				○									
	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部	○												
	自動ドア及び電動シャッターなどの操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ				○									
	防火扉レリーズ				○									
パッケージエアコンの配線	電線棒				○									
	配線ビット及び蓋	○												
	別途機器などへの接続				○									
	室外機・室内機間の伝送線				○									
	室外機・室内機間の電源渡り線				○									
	室内機・リモコン間の配線				○									
	室内機・リモコン間の配管				○									
	リモコン埋込ボックス				○									
	室内機・集中リモコン間の渡り伝送線				○									
	ガス漏れ探知機 (遠断弁連動)										○			
OAフロア用配線器具				○										
電気錠	電気錠及び通電金具 T ENキー及び制御盤	○												
エレベーター出入口三方枠 (金属製)				○							大理石のみ建築工事			
シャワーユニット (バスユニット)				○										
ガス給湯器リモコン用ケーブル								○						
ガス給湯器電線管及びボックス								○						
畳工事											○			
黒板工事	下地補強 黒板・白板・掲示板	○												
植栽工事				○										
備考	承認費													
工事名称 直方・鞍手市町村広域市町村圏事務組合 宮田消防署小竹出張所庁舎建設工事 (建築工事)		図面名称 建築工事特記仕様書 (4)		尺度		図面番号								
有限会社 淵上設計事務所 Tel 0949 (22) 3407 Fax 0949 (22) 3549		日付		A-05										
設計責任者 1級建築士 第257367号 鬼武 雅仁														